

JP250 2016年よりスタート!

■はじめに

近年、市販車ベースの250ccクラスは、CBR250ワンメイクレースの普及や、各社より250ccロードバイク発売の追い風もあり、参加者の増加傾向が見られます。

また、今年からアジア選手権でアジアプロダクション250クラス（AP250）が開催され、ワールドスーパーバイクでも近い将来同種のクラスを追加することが検討されるなど、世界的にもこのクラスの重要性が高まっています。

このような背景から、250クラスはロードレースの底辺拡大並びに新規参入者の増加を図る重要な位置づけになり、2016年から今までのST250クラスを発展させた「**JP250 (Japan Production)**」クラスをスタートすることになりました。

■4ストローク250ccバイクによるレース開催の意義

●ステップアップのクラスとして

JP250は国内ロードレースカテゴリーにとって、空洞化している部分を埋める役割があります。JSBに代表される1000ccスーパースポーツバイクを頂点にする全日本選手権は、全部で4クラスが開催されています。

JSBクラスは1000ccスーパースポーツバイクを改造したマシンで、国内最高峰クラスです。J-GP2は600ccの改造クラス、J-GP3は4ストローク250ccのレース専用マシンのクラス、そして改造範囲の少ないST600クラスです。また、全国の地方選手権はの中からJ-GP2を除く3クラスで開催されていて、各地方の優秀なライダーは、そのまま全日本へステップアップすることができます。

今回、新たに設定するJP250クラスは、現在ある全日本ピラミッドの底辺を支える重要なクラスと言えます。サーキットスポーツを志す少年たちは、キッズバイク、ミニバイクとステップアップしてきますが、その次のクラスとして、このJP250は最適です。車両価格が安いこと、パワーが低くミニバイクからの乗り換えが容易なこと、車格は十分であり、その後の乗り換えのためのトレーニングになることなど、メリットは数多くあります。

●参加しやすいローコストクラス

車両価格が安いこと、年齢に関わらず、初心者がロードレースの世界に入りやすいことが上げられます。サーキットを走ってみたい、レースにも興味がある、といった潜在的なファン層にとって、600ccレース用バイクや本格的なレーシングマシンはとてつもない存在です。スタート時点で200万円近いイニシャルコストは、とてもハードルが高いと言えます。しかし、4ストローク250ccバイクであれば、もっと身近な価格でベースバイクを手に入れることができます。レースがもっと身近な存在になります。

●充実のアフターマーケットパーツ

現在スポーツバイクの中でこのクラスのアフターパーツが最も多く市場に出回っていることです。ツーリングや街乗りだけでなく、サーキットでの走行を楽しみ、さらにレース参戦を志すユーザーにとって、アフターパーツの充実はとてつもない味方です。そしてさらに、そのパーツの開発、販売促進のために、多くのパーツメーカーが、レース市場、サーキット市場に参入してきます。

..... このリリースに関するお問い合わせは

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

〒104-0045 東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F

Tel: 03-5565-0900 / Fax: 03-5565-0907 / Email: info@mfj.or.jp

PRESS INFORMATION



Motorcycle Federation of Japan

2015年11月5日発行

■ 2016年施策

● 地方選手権の正式種目として採用します。

従来のST250は承認カテゴリーであったため、ライセンス昇格対象ではありませんでしたが、参加が増え、レベルも向上していることから新たなJ P 250クラスは地方選手権の正式種目とすることになりました。従って、このクラスから国際ライセンスへの昇格を目指すことが出来るようになります。

● 全日本選手権に併催し「MFJ カップ」の名称でシリーズ戦を新設します。

このクラスの参加者が同じ車両でステップアップするフィールドが必要であることから、全日本選手権に併催する「MFJ カップシリーズ」を開催することになりました。

MFJ カップは開催地の地方選手権シリーズの1戦としてもカウントされるダブルタイトルを予定しています。ジュニアライセンス以上のライダーが参加可能で、ライセンス区分で賞を分けます。

★ 2016MFJ カップ暫定日程

2016MFJ カップシリーズは以下の全日本選手権に併催を調整しています。(変更可能性あり)

大会	全日本日程	MFJ カップ
全日本第1戦 筑波大会	4月9日～10日	第1戦
全日本第3戦 もてぎ大会	5月28日～29日	第2戦
全日本第4戦 オートポリス大会	6月11日～12日	第3戦
全日本第5戦 SUGO大会	6月25日～26日	第4戦
全日本第8戦 岡山国際大会	9月24日～25日	第5戦
全日本第9戦 MFJ グランプリ鈴鹿	11月5日～6日	第6戦

※MFJ カップは基本的に土曜日に予選・決勝を行います。

● 車両規則の概要

技術規則の基本は、2015年のST250を基本とする。2015年よりスタートしたARRC（アジアロードレースチャンピオンシップ）のAP（アジアプロダクション）250との整合性も考慮した規則としました。

1. 参加可能車両

気筒数	排気量
単気筒	201cc～300cc
2気筒	201cc～250cc

2. 重量

規定最低重量は車両重量と完全装備のライダー重量を合計したトータル重量とする。

気筒数	排気量	規定最低重量
単気筒	201cc～250cc	190Kg
単気筒	251cc～300cc	200Kg
2気筒	201cc～250cc	200Kg

※重量調整はガソリタンクへの燃料の補給またはダミーウェイト追加で行う。

..... このリリースに関するお問い合わせは

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

〒104-0045 東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F

Tel: 03-5565-0900 / Fax: 03-5565-0907 / Email: info@mfj.or.jp

PRESS INFORMATION



Motorcycle Federation of Japan

2015年11月5日発行

3. 仕様

単気筒250cc車両には、車両メーカーが申請したMFJ特別申請車両(300cc)の部品を公認部品としてセットで組み換える事が出来る。組み換えにより、MFJ特別申請車両と同等とみなされた車両は、単気筒300ccの公認車両として扱う。

4. フロントサスペンション(2015・ST250から変更なし)

バルブ形式を変更しない範囲で、内部パーツ(スプリング、カラー含む)の変更が出来る。

5. リヤサスペンション(2015・ST250から変更なし)

リヤサスペンションユニットおよびスプリングの変更が出来る。リンクの変更は不可。

6. エキゾーストシステム(2015・ST250から変更なし)

- ①エキゾーストシステムの改造、変更が出来る。配置やサイレンサーの数の変更も可。
- ②エキゾーストパイプにカーボンまたはチタンを使用することは出来ない。サイレンサーおよびステー類の材質は自由。

7. ブレーキ(2015・ST250から変更なし)

ブレーキディスクおよびパッド・ホースの変更は可。

8. タイヤ、ホイール

- ①タイヤはワンメイクで予選、決勝を通じて1セット(ドライの場合)しか使用できない。
- ②ホイールは量産から変更できない。

9. ボディーワーク(2015・ST250から変更なし)

- ①カウルは量産から変更出来る。形状も公認車両から変更が可能。
- ②変更時、カウルの材質にカーボンおよびケブラーは使用できない。

10. エアクリナー

エアクリナーBOXは量産から変更出来ないが、吸気ダクト面積の拡大が出来る。

11. トランスミッション

- ①クイックシフターが使用出来る。
- ②2015年まで認められていた互換性部品としてのミッションギヤの変更は禁止。公認車両の状態から一切の変更は出来ない。

12. メーター類

タコメーター、スピードメーター、スイッチ類をアフターマーケット品に交換出来る。

13. 買い取り価格

- ①車両買い取り制度は廃止。
- ②・フロントサスペンション 8万円⇒10万円、リヤサスペンション 10万円⇒15万円

..... このリリースに関するお問い合わせは

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

〒104-0045 東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F

Tel: 03-5565-0900 / Fax: 03-5565-0907 / Email: info@mfj.or.jp

PRESS INFORMATION



Motorcycle Federation of Japan

2015年11月5日発行

●ワンメイクタイヤ制度

担当会社：住友ゴム工業株式会社

担当期間：2016年・2017年（2年間）

対象：MFJカップ JP250/地方選手権 JP250 全レース

使用タイヤ

		タイヤ名称（パタン名）	表示タイヤサイズ	外径×幅
DRY	F	新商品（α-13 相当）	110/70R17	586mm×110mm
	R	〃	140/70R17	628mm×141mm
		〃	150/60R17	612mm×149mm
WET	F	DUNLOP RACING KR189	110/70R17	588mm×116mm
	R	DUNLOP RACING KR389	140/65R17	620mm×140mm

DUNLOP の JP250 クラスへのサポート内容

イントラントサポート

- ・ MFJ カップ／地方選手権全大会を対象に参戦ライダーにフロントタイヤ1本を無償提供。
※サーキットでの組み換えサービスは無料。
- ・ MFJ カップ／地方選手権全大会優勝者に副賞としてタイヤ1セットをご提供します。

プロモーションサポート

- ・ MFJ カップ全戦を BS12 の番組内で放映をサポートします。
初開催の MFJ カップの認知向上と普及を応援する為に TV メディアでの露出をダンロップが確保。
※2大会を1番組にまとめ年間3回1時間番組で放映

以上

..... このリリースに関するお問い合わせは

一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会（MFJ）

〒104-0045 東京都中央区築地3-11-6 築地スクエアビル10F

Tel: 03-5565-0900 / Fax: 03-5565-0907 / Email: info@mfj.or.jp